



第77号

2017. 8. 10

(公社)津法人会 青年部会

津市広明町121番地

津税理士会館4階

TEL(059)225-1302

<http://www1.mint.or.jp/~hojinkai/seinenbu/>

提 言

ESとCS

ES（従業員満足）とCS（顧客満足）さてどちらが先か重要な両論ありますね。ニワトリとタマゴと一緒に答えはないのかもしれません。しかし私はやっぱりESがより大切だと思っています。

人生で最も多くの時間を費やす労働の時間、余暇がいかに充実してようともこの時間が苦痛であれば素晴らしい人生だったとは言えないので。

そしてこう考えます。誰かと一緒に遊びに行ってすごく楽しかったとしましょう。しかし、実はほかの人たちはちっとも楽しくなかった。この事実を知った瞬間に楽しかった思い出は、残念な思い出に上書きされてしまいます。

翻って、職場で社長の自分が仕事に満足していたとしましょう。その一方、従業員は不満だらけ、これはとても素敵な人生だったとは思えません。人生という限られた時間の大部分を一緒に過ごす身の回りの人々が満足を感じていないということになります。

CS（顧客満足）が至らなければ、多くの企業は自然と収縮しいずれ消滅してしまうでしょう。しかしES（従業員満足）が至らなくとも収益があれば企業は生き残っていけるのです。だからこそ経営者は従業員が仕事や会社に満足して一緒に働いているか、意識し続けることが必要なのです。

弊社従業員がこんな事を言っていたそうです。

「前の会社では朝起きて、会社に行きたくないとよく思ったけど、この会社に来てからそんなこと一度も思ったことがない」

私はこの話を聞いてとても誇らしく思いました。

収益を上げることと同じくらいにうれしく思いました。大げさかもしませんが経営者冥利に尽くるとさえ言えます。

きっとそんな彼は職場で自身の能力を気分よく発揮してくれるに違いないと信頼することができます。

これは企業だけでなく、すべての集団に当てはまっているとも思います。もちろん法人会も含めた各種団体もそうですね。良い会、良い事業をするには会員が来てよかったですと思っていただくことが必須です。責任だけを押し付けられた役員さんが良い事業や積極的な活動ができるはずもありません。良い仲間、関係を築き上げている団体だけが良い活動ができるのでしょう。会員拡大とか熱心に行ってメンバーが増えたとしても必ずしも会の活動が良くなるとも限りません。しかし従業員満足ならぬ会員満足があれば自然と数は増えていくことでしょう。

弊社は給与や福利厚生などは大企業に残念ながら全く及びません。しかし職場で気分よく働くこと、これは規模の大小は全く関係がないので比較的達成しやすい項目かなと思います。そしてスター・バックスやディズニーランドでのスタッフの接客が素晴らしいのは、きっと従業員が職場に満足しているからに違いありません。

いずれにせよニワトリとタマゴのようにESとCSがクルクルとうまく回って社会のお役に立てたら、それは素晴らしい企業と言えるでしょう。私は人生の大半を賭してそれに臨まなければいけないことは間違ひなさそうです。

新部会長からのメッセージ

公益社団法人 津法人会 青年部会 部会長 亀井 隆典



この度、公益社団法人津法人会青年部会の第19代部会長を仰せつかりました。歴代の会長をみると名だたる顔ぶれで、仰せつかりましたものの大変恐縮しております。

昨年開催されました第30回全国青年の集いで、「租税教育活動」の発表をはじめとした多くの事業を成し遂げられた山路前部会長、支えられてこられた前理事の皆様に敬意を表しますとともに、そのあとを受け継ぐにあたり、責任の重大さに身の引き締まる思いを致しております。その重責を全うすべく、知識を高め、皆様方の進言に耳を傾け、精一杯つとめさせて頂きます。

「租税教育活動」について

津法人会青年部での事業活動の柱として「租税教育活動」があります。法人会は税のオピニオンリーダーとして、地域と国の繁栄に貢献する経営者の団体です。この観点からすると、青年部会も「税」に関わる事業を中心に活動することが責務と言われています。

この「税」に関する活動に「租税教育活動」があります。津法人会青年部での「租税教育活動」は津市内の小学校を訪問し、子供達が「税」について考える機会を提供しています。「税」の仕組、使われ方を学んでもらい、大切さを教えています。

数年前より継続して行っており、年を経るごとに開催回数が増え、内容も充実したものに発展しています。今年度は早くも開催依頼があり、これまで活動してきた実績を確かめることができました。また、法人会青年部会の活動を知って頂いていたのだと、有難く嬉しく思いました。

未来を担う子供達に伝えることは、魅力的で、やりがいのある事業活動です。今年度も会員の皆様と共に、「租税教育活動」にしっかりと取り組ん

でいきたいと思います。

「会員拡大・交流」について

津法人会青年部会では年に数度の研修会や親睦会を行っております。研修会では、自分達の興味のある講習内容を選ぶことができます。講師として招く方も魅力的で、日々の仕事に役立っています。

その後の懇親会では、各自の感じたことや意見を話すことがあります。同じ研修を受けても、捉え方は十人十色で、多角的な考え方を身に付けるのに役立っています。(まだ身に付けていませんが。)

親睦会では、話題に関係なく、話し方そのものを学ぶことがあります。ものの言い回し、形容の仕方。冗談や馴熟落などが飛び交っていますが、そんな中にも、心に留まる話し方があります。

話題も地域や国に関する話、経営者たる姿勢、体験談など自身のためになるものが多く、その場に居るだけで、賢くなった気がします。(なっていませんが。)

そんな会員が集まったこの集まりを沢山の人々知りたい、せっかく会に入つておられるなら、研修会や親睦会に出席していたとき、ご縁を作つて欲しい、深めて欲しいと思っています。自分を磨くのは環境、周囲の人の感性に触れるることは自身の成長につながると思います。自身の成長は自社や取り巻く環境にも、良い影響を与えるはずです。

きっと目指したくなる人達がいる、目標となるべき人達がいます。そんな皆さんを沢山の人々知つてもらえるよう、事業に参加したくなるような、益々魅力ある津法人会青年部会になるようにしていきたいと思います。

これらを基本方針とし、皆様方の変わらぬご理解とご支援をお願い申し上げ、ご挨拶とさせて頂きます。今後とも宜しくお願いします。

退任挨拶



公益社団法人 津法人会 青年部会 直前部会長 山路 貴裕

このたび津法人会青年部会の第18代部会長を退任しました山路貴裕です。在任中は並々ならぬご支援とご厚情を賜り、誠にありがとうございました。

3年前に中川雅弘前部会長からお話をいただき、部会長を務めることとなりましたが、部会員の皆様はもとより役員の皆様の力強いサポートがあったからこそ務めあげることができたと深く感謝しております。

「会員活性」、「会員増強」、「税と地域社会貢献活動」の3つの目標を掲げ邁進してまいりました。まず、「会員活性」では参加意欲が増すような事業、組織運営に注力し、多くの仲間の参加に繋げて会員相互間の情報交流を進めていただきました。「会員増強」では本会の入会も考慮しながら、リストを作成し会員の友人や他団体からの勧誘を行い、多くの仲間が入会していただきました。「税と地域社会貢献活動」では地域の皆様のお役に立

てる研修会として公益性を考慮した講演会などを主催、また津市観光協会様のご協力もいただき、津市のゆるきゃらのシロモチくんと共に市内10校の小学校へ5年生を対象に出前講座として租税教室活動をさせていただきました。その時の事業風景写真を収めた租税教育下敷きを市内の5年生全員に配布させていただきました。

また、この2年間のメイン事業となったのは、日頃から行っている租税教育活動を第30回全国青年の集い北海道大会で東海地域の代表としてのプレゼンテーション発表でした。実行委員長の楠副会長には会員をまとめていただき素晴らしい発表をしていただきました。

末筆となりましたが、ご支援ご協力を賜りました津税務署の皆様、関係各位の皆様、本会の皆様、女性部会の皆様、事務局の皆様、会員の皆様にあらためて感謝申し上げますと共に亀井隆典新部会長のもと、ますます活発に活動されますことを祈念し、退任の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

平成29年度基本方針

よき経営者を目指すものの団体として、会員の積極的な自己啓発を支援し、納税意識の向上と企業経営及び社会の健全な発展に繋がる事業を行っていきます。

公益法人として、租税教育、講演会研修会の一般公開を中心とした地域貢献活動にもさらに力を入れ、また会員交流も積極的に行います。

1. 会員研修 —— 会員の自己啓発を支援し、企業経営の健全な発展に繋がる研修を行います。
2. 税制研修 —— 正しい税の知識を身につけ、納税意識の向上を目指し研修会を行います。また、「e-Tax」の普及推進に努めます。
3. 会員拡大 —— 会の存続・発展に繋がる積極的な会員拡大を行います。
4. 会員親睦 —— 信頼できる仲間作りを目指し、会員親睦の機会をつくっていきます。
5. 広報 —— 広報誌である「はげみ」とインターネットのホームページを通じて法人会青年部会活動の広報を行います。
6. 関連団体 —— 本会事業への参加並びに三重県法連、東海法連、全法連の各種事業へ参加し連携を深めるとともに、青年部事業活動への参考とします。
7. その他 —— 必要に応じて上記の基本方針を達成するための事業を行います。

平成29年度事業計画

月	行 事	本 会
4月	総会(24日)	
5月		
6月	広報誌「はげみ」発行	
7月	研修会	
8月	親睦ボーリング大会	
9月	研修会	
10月		
11月	社会貢献事業 全国青年の集い高知大会(9, 10日)	
12月	12月例会 広報誌「はげみ」発行	
1月	新年交流会	
2月	研修会	
3月		
役員会は毎月開催		HP更新は随時
		地域貢献事業

平成29年度予算 (平成29年4月1日～ 平成30年3月31日)

(1) 収入の部 (円)		
項目	予算額	備考
会費収入	912,000	
行事収入	1,025,000	
本会助成金	700,000	各種事業収入
雑収入	1,000	
合計	2,638,000	

(2) 支出の部 (円)		
項目	予算額	備考
事業費	1,798,000	
広報費	400,000	広報誌等
会議費	350,000	
雜費	20,000	
備蓄	70,000	
合計	2,638,000	

(公社) 津法人会青年部会定時総会開催される

4月24日(月)総会において、平成28年度の事業・決算の報告、平成29年度の事業計画・予算の報告が行われました。(於:津都ホテル)

記念講演会

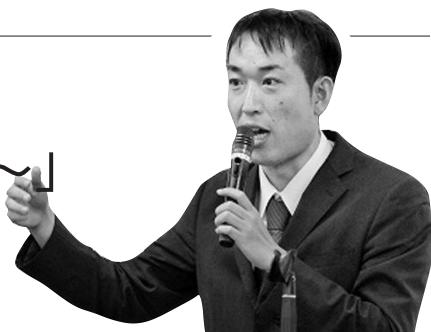
日 時: 平成29年4月24日(月) 15:50~17:00

場 所: 津都ホテル

「人を引き付ける話し方 ～説得力のある話し方をする方法～」

講 師 放送作家・漫才作家

村瀬 健 氏



「人を引き付ける話し方 ～説得力のある話し方をする方法～」というテーマでご講演いただきました。

村瀬さんは、放送作家としての地位を築いていくためには、テレビ関係の人たちのプレゼンの中でいかに人をひきつける話し方をすれば良いのかを考え、実践し、放送作家としての今の地位を築いていったそうです。

講演の端々には、今のテレビ業界の裏話や、タレントの年収などのお話を交え、我々を引き付けつつ、本題の人を引き付ける話へと進んでいきました。

参考資料も使い大変分かりやすく、また内容と

して話に説得力を出すには、「人間性」「実績」「話し方」の3つが必要とのお話に、まず深く感銘を受けました。

そして人間性を高めるには、「挨拶」「お礼」「名前の連呼」などのやり方があり、話し方には、「ストーリー」「体験談」「数字」などの要素で話し方の質を高められるというような、とても興味深い内容でした。

法人会活動や日々の仕事においても、とにかく人を引き付ける話し方は、改めて根本であると思いを新たにしました。

村瀬健様、素晴らしいご講演、本当にありがとうございました。

本年度卒業される方 (順不同・敬称略)

村上 昌彦 株式会社 Heart net

松川 智郎 株式会社 松井興業所



2月例会

日時：平成29年2月3日(金) 19:00～20:30 場所：アスト津 研修室

講 師 株式会社チェンジ執行役員

高橋 範光 氏

2月3日、アスト津の研修室におきまして青年部2月度例会を開催しました。

今回の例会では株式会社ケーブルコモンネット三重様のご協力を受けて、株式会社チェンジ執行役員の高橋範光様をお招きして「RESAS（リーサス）」について学びました。

「RESAS（リーサス）」とは地域経済分析システムのこと、内閣官房が運営する官民ビッグデータを集約し、可視化するシステムです。誰でもWebを操作する事で簡単に人口、観光、農業などのあらゆるデータを閲覧、分析が出来るというシステムで、最近は特に注目されているシステムです。

当日は高橋様から「RESAS」の概略説明を受け、その後はケーブルコモンネット様のご配慮でそれぞれ1台ずつのパソコンを用い、三重県のあらゆるデータを出席者が実際に確認するという形式で進みました。私自身はパソコンに疎い事もあり、少々戸惑うことも有りましたが、直接操作の手ほどきを頂きながら、今後の津市的人口推移予測や自分の住む地域の時間帯による人の動きなど、興味深いデータを確認する事が出来ました。人は

買い物をするときに「今日は〇〇を買いに行こう」とある程度の目的を持って買い物に行くと思います。しかし、100円均一ショップに行くと目当ての物をカゴに入れた後、店内をウロウロしながら目当てで無かった物まで手に取り、「これは何かに使えそうだな」「これはどんな使い方が出来るかな」とドンドン買い物かごに入れてしまう。皆様はそんな経験が無いでしょうか？自分の場合はそんな風に結局1,000円近い買い物をしてしまいます。今回の「RESAS」研修ではそれと同じ印象を受けました。あらゆるデータを見ているうちに「もしかしたらこの数字はこんな風に仕事に活かせるかも」とか「この数字はどのように仕事に活かせるかな」と自然と考えながら確認していました。「目的の数字」を確認するためにページを開くという以外にも、あらゆるデータに目を通しながら「自分の仕事にどのように活かせるか」を考えた方が良いのではないかと思いました。是非皆様も「何か活かせるデータはないか」と定期的に「RESAS」を確認してみては如何でしょうか。

租税教育活動

津市教育委員会・ 三重大学教育学部附属小学校 贈呈式

3月7日、授業の写真が入った下敷きと租税教育用冊子が市内の小学5年生全員に行き渡るよう、贈呈させていただきました。

我々青年部会が、小学5年生を対象に授業形式で租税教室を始めて6年になります。

贈呈式での話し合いでは、その活動の大切さを受講側・実施側が共に良く理解をしていることが良く分かりました。年々、租税教室の開催ご依頼も増加しており、今後もより良い租税教室実施の必要性を感じました。



▲ 津市教育委員会にて



◀ 附属小学校にて

租税教育活動報告

家城 小学校

1月11日、今年最初の租税教育を家城小学校で行いました。青年部からは9人とシロモチ君が参加し、小学校5年生・4年生合同クラスで15人を対象に実施しました。

冒頭から子供たちは熱心に授業に参加してくれ、質問に対しても積極的に手を挙げる姿が見受けられ、少人数とは思えない活気を感じました。

シロモチ君人気はここでも大変なもので、授業の後にも子供たちとシロモチ君とのふれあう時間をつくることができました。

終了後にはメンバー全員が校長室にお招きいただきました。

過疎化で年々生徒数が減少していく中、

①地域との繋がりを大切にして、PTAだけではなく地域の大人が子供たちを気にかけ、見守ってもらえる働きかけ

②年間を通して高学年と低学年でチームを作り、兄弟のようにお守りする絆の教育

③高齢者の皆さんと子供たちが接する時間を作り、家庭では難しくなった世代間のふれあいの体験

④用水路等で起こりうる水難事故を想定した、着衣水泳など実践的な学び

など数々のユニークな教育手法に取り組まれているお話を校長先生から伺いました。先生方や子供たちの活気の理由がわかるような気がしました。我々の租税教育の理念でもある地域との協働にもつながる大変貴重なお話でした。



藤水 小学校

1月17日に租税教室を津市立藤水小学校の5年生、59名に行いました。

今回青年部からは7名とシロモチ君の参加でした。

昨年と同じ会場の為準備・授業もスムーズに進みました。

突然のシロモチ君と1億円の登場でそれまでおとなしめだった生徒たちも大興奮し一気に盛り上がりいました。

生徒たちは授業を熱心に聞き、税金の大切さを理解してくれたと思います。

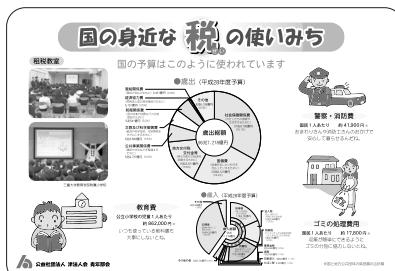
授業後にはシロモチ君が廊下で下校の1,2年生と交流をしました。

突然現れたシロモチ君に生徒・先生たち大変喜んで頂けました。



明合 小学校

1月26日、昨年に引き続き、とてもアットホームな雰囲気の中、租税教室を開催することができました。今回は幸運にも自由参観の日にあてて頂き、講師たちも少し緊張気味でしたが、児童の積極的な参加に助けられる場面もありました。父兄にも租税教室に触れていただくことができ、とても有意義な時間を過ごすことが出来ました。



香良洲 小学校

平成29年1月26日(木)に香良洲小学校にて、今年度8回目の租税教室を開催しました。

対象は小学5年生の2クラス・42名の子供たちで、青年部会からは6名とシロモチ君が参加しました。

最初は緊張していた生徒たちも少しづつ慣れてきて、シロモチ君の登場でさらに大盛り上がり。

最後に一人づつ全員に1億円を持ってもらい、その重さも実感してもらいました。

運営側の人数が少ない中でもうまく分担して進行ができ、8回目の租税教育も大成功に終わりました。



1月27日(金)、明小学校の5年生9名に青年部5名とシロモチ君のメンバーにて租税教室を実施しました。

明小学校は、戦前アメリカ合衆国から親善を目的に贈られた青い目の人形が現存しており、校舎入り口に展示されておりました。

校長先生に挨拶の後、5年生教室で授業を始めました。

最初のあたりは子どもたちも少し緊張している様子でしたが、クイズをする頃には、児童全員がにぎやかな雰囲気となり、シロモチ君や一億円のレプリカの登場の時には、大きな歓声があがりました。授業のあとには、子どもたちから笑顔で税金のことを少し理解できたことを教えてくれ、とても嬉しい気持ちになりました。

明 小学校

成美 小学校

平成29年2月6日、久居駅前に位置する成美小学校5年生3クラス・78名に対して租税教室を実施しました。今回は1クラスずつ3限に涉って実施しましたが、我々青年部会のメンバーも担当パートをうまく入れ替えながら、効率よく授業を実施することができました。継続は力なりで、沢山のメンバーさん達に講師として活動して頂いた結果、現在の楽しく判り易い租税教室が確立されてきました。我々自身も楽しんで講師をさせて頂いておりますが、その雰囲気が子供達に伝わり、さらにシロモチ君も加わって非常に楽しく印象深い租税教室であったと思います。この良い雰囲気を次年度以降も継続していくけれど感じた次第です。



誠之 小学校

平成29年3月22日、まだ朝晩は肌寒く視聴覚室はとても冷え込む租税教室となりました。

久居にある誠之小学校5年生53名。本当に学校によってそれぞれ生徒のカラーもあり、テンションもまちまちです。毎回の租税教室は講師側が学ぶこともあります。誠之小学校の生徒は大人しく、熱心に授業を聞いていました。そんな中、シロモチくん登場時には歓声が沸き、純粋な子供たちの笑顔が広がります。そんな時はいつも法人会活動冥利に尽きます。

『税』というテーマの租税教室ですが、この中から津市の地域の魅力や自分たちの街の財産、人、それらを少しでもプラスして学んでもらえたらと思い、我々も授業を行っております。

最後に、記念撮影と記念品贈呈をして、先生方にも大変喜んでいただきました。毎回の活動で学び、次回以降の租税教室に生かしていきたいと思います。





いきいきはげみ!

第27回

子供の頃からジャッキー・チェンが好きだった。特にカンフーものが良い。テレビのロードショーなどで観るたびに、手足を振りまし、奇声をあげて妹を追い回していた。「ジャッキー症候群」だ。ジャッキーのたびに豹変する兄がいるのだ、妹はジャッキーが嫌いになっただろう。

最近でもジャッキー映画を観ることがある。さすがに手足も振り回さず、奇声もあげないが、中華料理が無性に食べなくなる。なぜそうなるのか理由は分からぬ。ブルー・スリーではこうはならない。ジャッキー症候群の第2段階だ。

カンフーに限らず、格闘技が好きだ。観るのも、自分でするのも好きだ。今まで4つの武道を習ってきた。柔道、空手道、合気道、現在は跆拳道(テコンドー)を習っている。

一概には言えないが柔道・合気道は投げ技や関節技が中心、空手道・跆拳道は手や足での打撃技が中心だ。ただし、空手道や跆拳道にも投げ技や関節技はある。それぞれ技やルールは違うが共通しているところもある。

逆に、同じ武道だったとしても、流派や団体によって、ルールや技が違うこともある。

例えば?拳道だが、大きく分けて二つの団体がある。僕の習っている団体は「ITF」(International Taekwondo Federation)という団体で、もう一方は「WTF」(World Taekwondo Federation)という団体だ。

大きく違うところは手技で首から上への打撃が許されているか反則になるかだ。「WTF」は手技で首から上への攻撃が反則だ。ちなみに、オリンピックに出ている?拳道は「WTF」だ。

これから話を進めていくうえで、皆さん知っている武道とは違うところがてくると思う。前述のように、流派や団体により技やルールが違い、あくまで僕の習ってきた武道の話なので、異論が

あってもご容赦いただきたい。

小学校時代、2年生途中から卒業する前まで、柔道を習っていた。最初は空手をやりたかったはずなのだが、父親の勧めで柔道をやることになったと記憶している。

習っていた場所は当時の津警察署の3階にあった武道場だった。先生が3人いて、うち2人は警察関係者だったと思う。

柔よく剛を制すということを習ったかは覚えていないが、武道場の窓から留置所を見せられ、悪い事をすればあそこに連れていくと教えられた。子供の目には、とても怖い場所に映った。もちろん悪いことはしていなかったが、練習に行くのが怖くなってしまった。今でも、やましいことはしていないが、警察署には行きたくない。トラウマなのかな。

小学生の部だが、大会にも何度か出場した。試合では自由に技を掛け合って勝敗を競う自由組手をする。他の道場で習っている子供達と対戦するのだが、いつもやりにくかった。釣り手と引き手の構えが違うのだ。

釣り手は相手の襟を持つ手、引き手は袖を持つ手、津警察署道場で教えられた構えは左手が襟、右手が袖、他道場組のほとんどは右手が襟、左手が袖である。組んだときにしっくりこないし、持たせたままで技をかける技術もなかった。対戦相手達の持ち方がおかしいと、いつも腹立たしかった。

高校生になって、体育の授業に柔道があった。その授業で、利き手で襟を持つのだと教えられた。耳を疑った。僕は右利きなので、本来なら右手で襟を持つべきだったのか、津警察署の先生は左利きだったのかなと思った。

ただ、損をしたとか、右利きの構えを教えて欲しかったとかの気持ちは無い。武道には右も左もない、得手不得手があってはいけない。だから左構えを教えて貰ったことに感謝している。本来は両方の構えを練習するところ、小学生だったので片方だけ教えていたのかもしれない。

つづく